

議事要旨

会議名	第2回 大村市都市計画マスタープラン等策定検討委員会	作成課	都市計画課
日時等	令和3年 1月 22日（金）14:00～15:40 大村市役所第8会議室		
出席者	大村市都市計画マスタープラン等策定検討委員会 委員（20人中18人出席） 都市整備部都市計画課		
会次第	<ul style="list-style-type: none"> ● 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民への情報提供(公表)について (2) 整備プログラムの進捗状況について (3) アンケート調査結果について (4) 都市づくりの課題の整理について ● その他 <ul style="list-style-type: none"> スケジュールについて 		
主な内容	<p>【主な意見等】</p> <p><u>(3) アンケート調査結果について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整備プログラムの取組に対して、その成果が市民アンケートの満足度の結果にどう表れているのかという評価を行ってはどうか。取組を実施したが満足度が上がっていないようであれば、これまでとは違うアプローチの仕方を考えなければいけないという可能性もある。 <p><u>(4) 都市づくりの課題の整理について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近、灰色や黒色などモノクロの建物や看板が流行っており、市民アンケートではまさに個性がないといった評価も出ているため、今後は、専門的視点で色彩について検討し、心に響くようなきれいな色、気持ちが明るくなるような色を都市づくりや教育現場の中で活かしていっていただきたい。 ・ 独り身の方などが倒れてから数日後に発見されるといった状況がある中で、グループホームとまではいかずとも、身近な距離に、例えば若者が食堂という形で食事を提供し、おひとりでも食事ができて過ごせるシェアハウスのような拠点があるといいなと思う。そうすることで地域の繋がりがあ、豊かなまちになるのではと思う。 ・ コンパクトシティについては、都市行政において全国共通のテーマとなっていることから、本計画の中でも強く打ち出した方がよいのではないかと。課題の中、あるいは、将来都市像や基本構想の中で掲げてもらえるとうい。 ・ 中心部から外れた地域では、買物や交通、医療福祉施設などに関する点で移住意向が一定の割合で見られる。道路など都市施設の面で不便が生じているのであれば、課題④居住環境の辺りにもう少し書き込みが必要であるのかもしれない。また、医療福祉施設の面では、ハード整備だけでなく、ソフト面から支援を行うことも考えられるため、その辺りを深く検討していく必要があるかもしれない。 ・ 近年はコロナによって、人と離れていても豊かな暮らしを送りたいといった要求や、コンパクトシティという人が集まる地域で暮らすことへの疑問など、社会の要求が変化してきている状況がある。そのあたりの要求の変化が都市機能などにどう影響してくるのかも考えていく必要がある。 ・ 大村市の特徴といえば豊かな水面の宝の海である大村湾があることが大きな特徴であると思う。全国でも大村市といえばあんなまちだと語ってもらえるような、大村湾を活かした都市づくりができるのではないかとと思う。 		

- ・ 長崎県や九州における大村市の立ち位置を大局的に捉えて、大村市の都市づくりを考えていくことが重要と思う。
- ・ アンケート結果や社会的な状況を踏まえて、非常に丁寧に内容を網羅した形で個別の課題を整理してもらっていると率直に感じた。一方、課題設定に係る大きな方針・視点について、整理しておいた方がよいのではないかと思う。課題を5本柱から6本柱に変える理由などについて整理してあると、議論の熟度も高まるし、市民の方も理解しやすいと思う。
- ・ まちが便利になればなるほど、農業がやりにくくなり、不便なことも出てきている。普通の車と比べてトラクターや農業機械は早く走ることができず、道が広くなればなるほど、トラクター等で通行・横断することが非常に危険になっている。農家としては、まちが便利になってうれしい反面、家業としては危険や不便なことが出てきている。そうしたことも念頭において計画を検討していただきたい。
- ・ 新たな土地や建物がどこかの経済活動に使われるということは、どこかの経済活動が衰退することにつながる。計画の方向性がビルドを前提とした方向性に見えるが、スクラップの部分を市としてどう考えるのかというのも検討していく必要がある。
- ・ 協働によるまちづくりや、効率的な都市づくり、最大の成果をあげる都市づくりなどについては、全分野に関わる内容であるため、特定の分野に記載しておくことが適切なのか検討が必要である。